

福井県立恐竜博物館(1/2)

世界に羽ばたく恐竜博物館

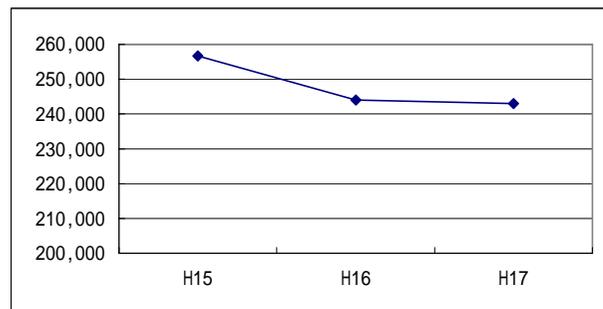
所在地	勝山市村岡町寺尾51-11		
設置年月日	平成12年7月14日		
施設の種類	博物館	施設管理主体	県
設置の目的	恐竜を中心とする古生物および地球の歴史に関する資料の収集、保管、展示、研究等を行い、もって県民の文化の向上に寄与する。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、延15,086㎡ 展示室・講堂・ダイナラボ・ダイノシアター・化石クリーニング室・恐竜骨格30体以上		
職員数	職員13人 非常勤嘱託3人 アルバイト5人 計21人		

利用状況等

	H15	H16	H17
利用者数(人)	256,663	243,976	243,006

利用者負担(利用料金)等

入館料	大人	500円
	高校・大学生	400円
	小・中学生	250円



利用状況の推移	<p>平成15年度は、特別展「オーロラを見た恐竜たち」が好評で76千人の来館があり、年間来館者数は約25万6千人となり、過去最高を記録しました。</p> <p>平成16年度は、特別展「中国大陸の6億年」に80千人の来館がありましたが、福井豪雨等の影響により、年間来館者は約24万4千人にとどまり、対前年比約5%減となりました。</p> <p>平成17年度は、福井新聞社との共同開催による特別展「大空に羽ばたいた恐竜たち展」に約77千人の来館がありましたが、豪雪等の影響により、年間来館者は約24万3千人で前年比減少しました。</p>
---------	--

平成17年度の特徴について

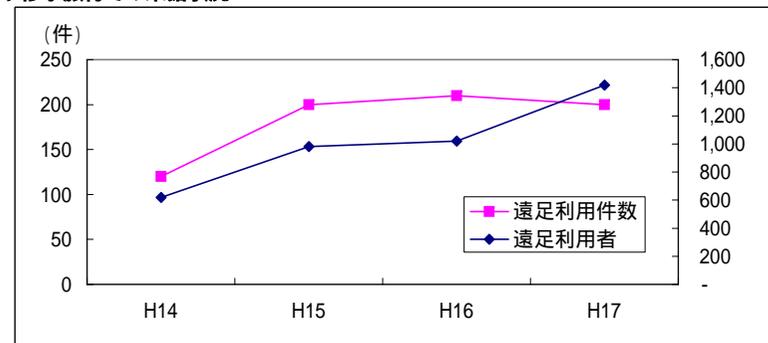
事業実績	<p>福井県立恐竜博物館開館5周年記念事業として、福井新聞社との共同開催による特別展「大空に羽ばたいた恐竜たち」を開催しました。</p> <p>大人から子供までのあらゆる層の多様なニーズに応じた、セミナー、自然教室、ふれあい教室等教育普及事業を40回開催し、児童生徒、親子等約1,000名が参加。児童生徒を中心にわかりやすい古生物学を紹介できました。</p> <p>県観光連盟と連携し、東京、名古屋、大阪において旅行代理店等に対し、誘客のためのPRを実施しました。</p> <p>東京、横浜において恐竜骨格の組み立て実施、東京都荒川区民祭への参加、福井県食材フェアへの参加など、県外におけるPRを実施しました。</p> <p>JR新福井駅の開業に際し、恐竜骨格標本の展示や折り紙教室の開催など、県内外客へのPRを実施しました。</p>
------	---

観光との連携

県観光連盟と連携し、東京・名古屋・大阪で旅行代理店等に対し、福井への誘客のためのPRを行いました。

県外からの入館者が約7割あり、館内に県内の観光ポスターを展示し、観光パンフレットを設置するなど、来館者へ情報提供を行いました。

遠足や修学旅行での来館状況



研究の状況

恐竜博物館の職員が平成17年度中に以下の研究を実施しました。(共同研究を含む)

Dinosaur footprints from the Lower Cretaceous of Inner Mongolia, China

The first discovery of dinosaur footprint from Lufeng of Yunnan Province, China

New specimens, including a growth series, of Fukuiraptor (dinosaur, theropoda) from the lower cretaceous Kitadani quarry of Japan

A preliminary report on two new vertebrate track sites including dinosaurs from the early cretaceous Hekou group Gansu Province, China

HABOROPHOCOENA TOYOSHIMA, a new early pliocene porpoise (cetacea: phocoenidae) from Hokkaido, Japan

福井県立恐竜博物館(2/2)

行政コスト計算書(平成17年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	131,872	14.7%	87.1%
	退職給与引当金繰入	7,470	0.8%	-
	計	124,402	13.9%	84.4%
物にかかるコスト	物件費	334,115	37.5%	99.7%
	維持補修費	5,390	0.6%	28.6%
	減価償却費	255,116	28.6%	100.2%
	計	594,621	66.7%	97.7%
その他	公債費(利子)	169,332	19.0%	93.5%
	その他	3,430	0.4%	117.7%
	計	172,762	19.4%	93.8%
合計		891,785	100.0%	94.9%

バランスシート(平成18年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	12,734,161	98.5%	固定負債	8,534,683	92.6%
投資等	0	-	流動負債	670,856	100.0%
流動資産	0	-	正味資産	3,528,622	115.9%
計	12,734,161	98.5%	計	12,734,161	98.5%



施設の特徴 恐竜化石発掘調査で多くの標本が発見され、勝山市近辺には当時豊富な恐竜の群が生活していたことが明らかになりました。恐竜博物館は、そのような恐竜に関する資料を展示した国内最大級の博物館であり、地元勝山市および本県のイメージアップに貢献するとともに、県内外から多数の入館者が訪れるなど、本県の観光資源としても重要です。実物大かつリアルな恐竜のロマンと不思議を体験でき、自然科学に対する子供たちの夢、関心を醸成しています。

今後の課題 世界的な恐竜研究のメッカとなる取組みを進め、調査研究のレベルアップを図るとともに、県内外の学校等に対するPR活動、大都市圏における恐竜展への出展、子どもたちが楽しめる博物館を通じて、入館者の増加を図ってまいります。

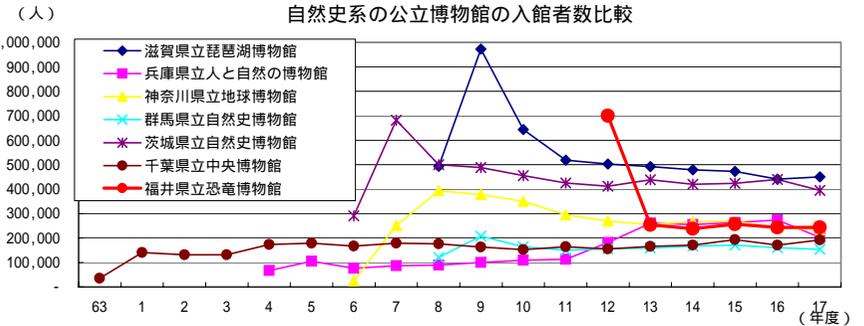
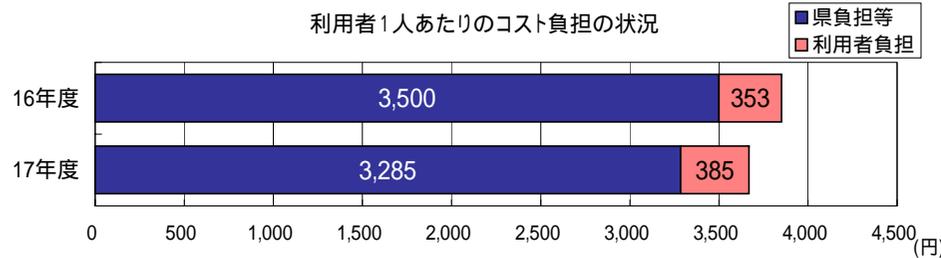
(単位 千円)

収入				(前年比)
利用料等収入	93,595	10.5%	108.7%	
その他収入	54,091	6.1%	831.3%	
一般財源	744,099	83.4%	87.8%	

(前年比)

利用料等収入計	93,595,000 円	108.7%
利用者1人あたり平均利用料	385 円	109.1%
利用者1人あたりコスト	3,670 円	95.2%

利用者1人あたりのコスト負担の状況



バランスシート、行政コスト計算書の特徴

施設の設置が平成12年度と新しく、減価償却費や公債費の割合が高くなっています。平成17年度から職員が1名減ったため、人にかかるコストが減っています。物にかかるコストも減少し、利用料収入が増えたため、利用者1人あたりのコストは減少しました。

今後の事業方針

取組み内容

第3次恐竜化石調査による小型肉食恐竜等の骨格発掘を行い、国際的にも注目されている白亜紀前期の手取層群の総合的な古環境の解明と復元を目指します。国内で初めてアジアの恐竜をテーマとする世界の研究者を一堂に会したシンポジウムを平成19年度に開催し、広く国内外にアピールして、国際的な恐竜研究の拠点化を目指します。全国各地の代表的な自然系博物館とネットワークを構築し、恐竜など古生物の共同研究等を行い、国内中核機関としての確立を図ります。化石発掘現場を保存・活用するとともに、博物館と発掘現場を一体化した野外博物館構想の実現を図ります。全国の子供たちに“ふくい恐竜”を知ってもらい、来館のきっかけとなるよう県内外の学校に呼びかけ、出前講義や本物の恐竜化石に触れる機会を設けます。県外からの誘客を図るため、県観光連盟等と連携してPRを積極的に推進するとともに、都市部や海外での恐竜展示会等に積極的に出展し、恐竜博物館を全国に認知してもらうための取組みを進めます。エントランスホール等を活用し、子どもたちを楽しませるアミューズメント性の高い恐竜グッズの展示や館内を楽しむことができる子ども向けのガイドの充実を図ります。キッズページの充実や、子どもに人気の高いホームページとのリンクによるホームページの充実を図ります。